

授業科目名	基礎医学英語Ⅱ	担当教員	教授 岩田 淳
開講年次・学期	1年後期	必修/選択	必修
開講形態	演習	時間数/単位数	1単位
学習目標			
<p>医師にとって英語は、情報の入手、情報の発信、患者や他の医療従事者とコミュニケーションを図る上で必須のツールです。「基礎医学英語2」では、前期「基礎医学英語1」で学習した内容を基盤に、eラーニング教材、医学英語のテキストを利用した語彙演習、医療面接演習、読解演習を行い、医学英語の基礎力向上を目指します。</p>			
ディプロマポリシーとの関連			
<p><コミュニケーション能力> 4. 医療人に必要なコミュニケーション能力を身につけ、患者やその家族と良好な人間関係を築くことができる。 <グローバル化への志向力> 12. 海外の医療や異文化を理解し、グローバルな視点で物事を判断し行動することができる。</p>			
学修成果(到達目標)			
<p>(1) 一般的な症候や関連する体の部位にする語彙を理解する。 (2) 一般的な症候に関する医療面接の会話を聞いて、概要を理解できる。 (3) 英語の医療面接における基本的な表現を理解し、使うことができる。 (4) 一般的な症候に関する英語の説明文を読んで理解できる。</p>			
キーワード			
英語コミュニケーションスキル、専門(医学・看護)英語			
授業の進め方			
<p>本授業は、1年生を2グループに分けて、対面授業、eラーニング、ペアワーク等を組み合わせた「ブレンド型学習(Blended-Learning)」で実施します。授業には、ノートパソコンもしくはタブレットを持参してください。</p>			
評価方法			
<p>試験(60%)、小テスト(30%)、出席、授業の取組み(10%)により評価します。授業に2/3以上の出席がない場合「未修」とします。</p>			
合否基準			
<p>評価方法に基づき、100点満点を総得点とし、60点以上を合格とします。</p>			
教科書・参考書			
<p>・教科書：『総合医学英語テキストStep1』日本医学英語教育学会編、メディカルビュー社 ・医学部基本語彙集3000(授業で配布) ・英和辞書(電子辞書も可) ・イヤホン(各自で購入しておくこと) ・ノートパソコン(タブレットも可)を持参してください。 ・参考書 (1)『キクタンメディカルー1. 人体の構造編』、アルク(2,800円税別) (2)『キクタンメディカルー2. 症候と疾患編』、アルク(2,800円税別)</p>			
オフィスアワー			
授業日の放課後			
コア・カリとの関連			
<p>A-4-1) コミュニケーション ねらい： 医療内容を分かりやすく説明する等、患者やその家族との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有する。 学修目標： ① コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ② コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③ 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献 ねらい： 国際社会における医療の現状と課題を理解し、実践するための基礎的素養を身に付ける。 学修目標： ① 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ② 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ③ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ④ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ⑤ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。</p>			
準備学修に必要な学修の時間			
各講義の中で指示します。			